

大学コンソーシアムやまがた幹事会（平成24年度第13回）議事録

日 時 平成25年2月12日（火）15:00～17:00

場 所 ゆうキャンパス・ステーション及びTV会議室

出席者 委員長 安田 弘法（山形大学）

副委員長 花岡 孝（東北芸術工科大学）

金内 良一（保健医療大学）

草薙 信博（米沢女子短期大学）

大川 健嗣（東北文教大学）

委 員 矢口 清（事業評価委員会委員長／山形大学）

田中ふみ子（羽陽学園短期大学）

瀬川 透（鶴岡工業高等専門学校）

迎田伊三郎（代理）（放送大学山形学習センター）

岸 善一（農業大学校）（TV会議室）

竹田 幸弘（代理）（山形県）

欠席者 委 員 栗山 恭直（企画会議委員長／山形大学）

平松 緑（東北公益文科大学）

藤原 茂樹（産業技術短期大学校）

勝見 英一朗（山形工科短期大学校）

議事に先立ち、本日の議事録署名人を山形県立米沢女子短期大学 草刈副委員長と鶴岡工業高等専門学校 瀬川委員にお願いしたい旨提案があり、了承された。

引き続き、委員長から、報告事項2に関連して横井山形人材育成委員会企画運営部会長が説明者として出席している旨紹介された。

[報告事項]

1 大学コンソーシアムやまがたの事業評価報告書について

矢口委員から資料1に基づき報告があった。

2 山形人材育成委員会の平成24年度活動報告について（平成25年2月4日現在）

横井山形人材育成委員会企画運営部会長から資料2に基づき報告があった。

(主な意見交換内容)

- ・ I Rシステム導入研究についてだが、平成25年度の事業に共同教育評価とあるが宜しいのか？ I Rシステム導入と共同教育評価は関係ないし、文部科学省提出の事業計画書では別物として、記載されていたように思うが。  
→ I Rシステム導入研究の事業に共同教育評価を入れたのは、共同教育評価方法に基づく評価をシステムに導入するという意味で記載させていただきました。
- ・ 議事録を確認すると、欠席者が多い会議もあるように見受けられる。各部会等については、本幹事会で定足数などの規定を慎重に審議してきた経緯があり、また、国補助金を費消するものであり、その成立要件などは厳密に運用すべきと考える。  
→事務局として留意して運営していきます。

3 平成24年度事業報告（中間報告）について(平成25年1月31日現在)

事務局より資料3に基づき報告があり、諮られた結果、所要の訂正等を行うことを前提に了承された。

- ・ 3ページの中段「(3) 男女共同参画シンポジウム」についての記載の後に「(4) その他の各種講習会・イベントの企画・実施」についての記載が無くてよろしいのでしょうか。今年度事業計画においては、「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の2企画会議主催プロジェクトの項に「(4) その他の各種講習会・イベントの企画・実施」が例示のカッコ書きも含めて明記されております。  
→整理します。現時点で該当事業の実施はありません。
- ・ 5ページの下段「広報事業」の(2) ゆうキャンパスホームページ等の充実・管理の項について、事業計画では、「ブログ、twitter、facebookページを充実する」とされておられますが、ブログ、twitter、facebookページはやっておられるのでしょうか。  
→実施しています。
- ・ 6ページの下段に「学生企画イベント」の項がありますが、年度事業計画に「学生企画イベント」などの項目はありません。幹事会で追加変更を審議・議決したことも無いように記憶しております。こうした項目を突然に入れて良いのでしょうか。本事業については、9月の幹事会で後援することが審議・議決されていると思われます。本コンソーシアム事業ではなく、このゆうキャンパス・ステーションを利用した、学生有志主催事業への協賛事業であるとして、この正式な事業報告から削除することが適当なのかなとも思いますが、どうでしょうか。  
→削除します。

- ・24年度に企画会議は何回開催され、どのような議事があったのでしょうか。事業報告の最終版には載るのかとも思いますが、当面、口頭で良いので、御教示下さい。
- 5回です。議題については、年度当初に平成24年度の企画会議事業についての協議を行い、その後4回については、『高等教育山形宣言プロジェクトについて』への申請案件について協議をしております。
- ・大学コンソーシアム京都で実施している「京都学生祭典」にスタッフとして参加している学生数はどの程度か？
- 226名ということで報告されています。(内訳：23大学1大学院1専修学校)
- ・大学コンソーシアム大阪が実施している健康フェスタの目的は教育・研究のどちらですか？
- 研究という位置付けになっています。

[協議事項]

1 平成24年度収支補正予算並びに収支決算見込額(案)について

事務局より資料4に基づき提案があり、諮られた結果、了承された。

(主な意見交換内容)

- ・今回の補正はゆうキャンパス・ステーション運営費に関してだが、当初予算になぜ12か月分を計上していなかったのか？あらかじめわかっていたのでないか？
- 例年同様に対応してきています。
- ・補正した31万円は、次年度大学コンソーシアムの負担金収支運営費に戻るのか？
- 検討します。
- ・負担金収支に戻入されることを前提に、条件付で本案に賛同したい。

2 平成25年度事業計画(案)について及び3 平成25年度収支予算(案)について

事務局より資料5及び資料6に基づき提案があり、質疑応答・意見交換の後、委員長より、事業計画(案)及び予算(案)については継続審議とし、2月22日(金)までに各委員より意見をいただき、いただいた意見をもとに、3月上旬に修正した事業計画(案)及び予算(案)について協議する幹事会を開催したい旨発言があり、了承された。

また、大学間連携共同教育推進事業に関する事業計画(案)及び収支予算(案)については、現在、文部科学省より「平成25年度大学改革推進等補助金調書」について提出依頼があり、平成25年度の補助金基準額は5,800万円となっており、当初予算額6,600万円より800万円の減額に対応した収支予算(案)については、山形人材育成委員会総会で協議中であり、本件に関しては、提出期限が迫っており、大学間連携共同教育推進事業の担当校との調整もあるため、幹事会委員長に一任いただき、文

部科学省に提出させていただき、提出した事業計画及び予算については、提出後に報告させていただきたい旨発言があり、了承された。

(文部科学省への提出期限：平成25年2月25日(月)必着)

(主な意見交換内容)

平成25年度事業計画(案)について

- ・今年度の実情を鑑み、また、来年度は大学間連携共同教育推進事業を最優先で行う方向であることから、1ページの「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の2企画会議主催プロジェクトの項の「(2) その他の各種講習会・イベントの企画・実施」(例示のカッコ書き付き)については、現時点で成算があるのであれば格別ですが、削除していかがでしょうか。

→検討します。

- ・2ページ中段の(2) ゆうキャンパスホームページ等の充実・管理の項について、「ブログ、twitter等を充実する」はやりきれますか。無理しないで、「ホームページの内容を随時更新する。」だけでよろしいのではないのでしょうか。

→ご助言ありがとうございます。整理します。

平成25年度収支予算(案)について

- ・放送大学では、平成25年度予算が大幅な削減が予定されている。また、現在の講義室では手狭なため、新たな講義室確保を検討しており、ゆうキャンパス・ステーション運営費は辞退せざる得ない現状となっている。

- ・「大学コンソーシアムやまがたの顔となる事業」の内訳「各種イベント」については、成算等も乏しいようでもありますので、「企画会議主催プロジェクト共通経費」に入れ込んで、融通性高い用途としてはどうですか。

→ご助言ありがとうございます。整理します。

- ・「大学コンソーシアムやまがた運営費」の内訳「アドミニストレイティブ・アシスタント雇用経費」は何のことでしょうか。今年度予算までは無いものと思いましたが。備考を見ますと「ゆうキャンパス・ステーションの土日および夜間勤務」とありますが、そもそも、土・日・夜間のゆうキャンパス・ステーションの開所は無し、使用する部門あるいは借用する団体等がスタッフ確保も図るということではないのですか。また、ゆうキャンパス管理に関するものなら、今年度より設定する特別収支予算(資料6-4)であげて、審議を進めるべきと思います。

今回は負担金1割減していただき、感謝に堪えないところです。一方、こうした新規な、また、多額な費用を要する項目を設定することには、賛同できません。おって、この項目の新設がなければ、負担金も、さらに1割程度減額可能であったとも思われます。利用頻度を高めるという目的のために敢えての設定であれば、

そこまでの努力をしなくても、とってしまい。御再考を希望します。なお、経費は予備費用に積み上げてよろしいでしょう。そして、また、必要予算総額が減額していくようでしたら、26年度以降も負担金の一層の減額を検討していくことがよろしいものと思います。

→ゆうキャンパス・ステーションは、土日および夜間も開所しております。今年度は、ゆう・ステの職員及び山形大学渉外課職員が土日に勤務しております。多くはありませんが、イベントがないときは高校生が自習等のために利用しています。

・企画会議が最近、休眠、あるいは、極めて活動に乏しいのではないかと感じます。また、本来、企画会議で、審議され、決定されるべきことが、事務局や担当山形大学教員の御判断や、時に、誤って、幹事会付議のようになっているのではないかと懸念します。本来は、最も実働すべき機関であると思う。また、幹事会等における企画会議代表の先生は、企画会議での審議状況を踏まえての発言や提案が期待されるべきものであるところ、御出身大学の視点あるいは御自分の存念のみでの御発言となっていることはいかがなものでしょうか。

今後については、大学間連携共同教育推進事業がメインとなるべきであり、企画会議自体は一休み状態で良いと、小職個人は思うところでありますが、コンソーシアムとしては、今回事業計画や予算のように、従前より一定の事業削減はされたものの、引き続き、主体的・積極的に事業を展開しようとしていると解されます。そうであれば、意識を高くお持ち下さり、主体となって、構成校や学生諸君を強力に牽引する事業展開の主体となっただく必要があると思うところであります。

→ご指摘ありがとうございます。24年度企画会議事業は、ルーチン化された事業がほとんどでしたので、委員会自体の開催回数も限られておりました。

[その他]

次回開催について

事業計画（案）及び予算（案）について協議する幹事会を3月上旬に開催する事となった。

以上

【配付資料】


資料 No. なし

幹事会委員名簿  
大学コンソーシアムやまがた会則  
平成24年度 大学コンソーシアムやまがた幹事会議事録  
(平成24年10月23日)

- 資料1 「大学コンソーシアムやまがた」の事業評価報告書
- 資料2 大学間連携共同教育推進事業の年度別事業概要
- 資料3 平成24年度大学コンソーシアムやまがた事業報告(平成25年1月31日現在)
- 資料4 平成24年度大学コンソーシアムやまがた収支補正予算並びに収支決算見込額(案)
- 資料5 平成25年度大学コンソーシアムやまがた事業計画書(案)
- 資料6-1 平成25年度機関負担金(会費)(案)
- 資料6-2 平成25年度ゆうキャンパス・ステーション運営費負担金(案)
- 資料6-3 平成25年度大学コンソーシアムやまがた収支予算書(負担金分)(案)
- 資料6-4 平成25年度ゆうキャンパス・ステーション運営費収支予算書(案)

議事録署名人

山形大学理事・副学長

安田 弘法 

山形県立米沢女子短期大学事務局長

草薙 信博 

鶴岡工業高等専門学校教授

瀬川 透 